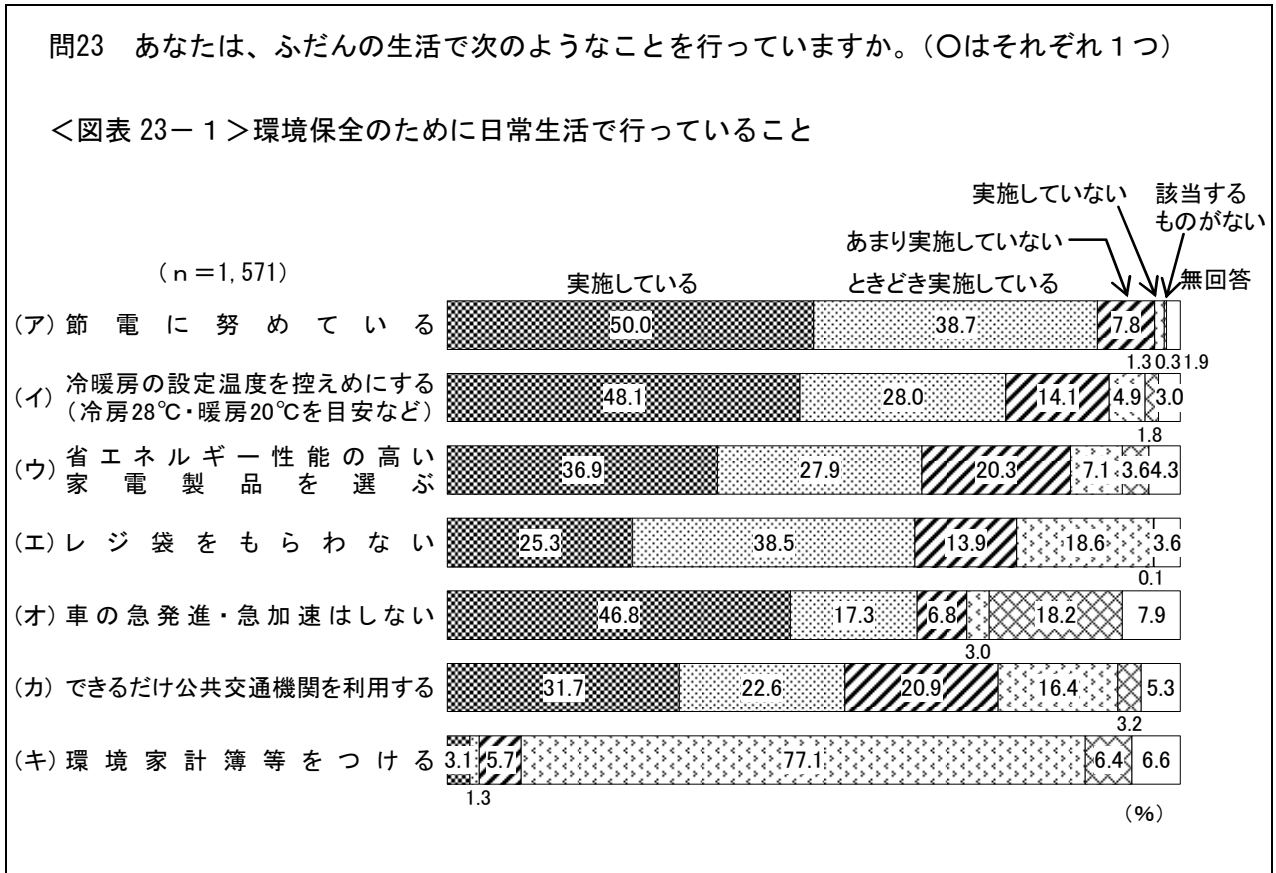


6 【環境保全に関する取り組みについて】

(1) 環境保全のために日常生活で行っていること

◇『実施している』が最も高いのは<節電に努めている>で5割



環境保全のために日常生活で行っていることを聞いたところ、「実施している」は<節電に努めている> (50.0%) で5割、<冷暖房の設定温度を控えめにする (冷房 28℃・暖房 20℃を目安など)> (48.1%) で約5割、<車の急発進・急加速はしない> (46.8%) で4割台半ばなどとなっている。

(図表 23-1)

【地域別】

地域別にみると、＜節電に努めている＞において、「実施している」は“山武地域”（56.7%）が5割台半ばで他の地域に比べ最も高い。＜冷暖房の設定温度を控えめにする（冷房28℃・暖房20℃を目安など）＞においては、“千葉地域”（53.5%）が5割台半ばと他の地域に比べて「実施している」割合が高い。＜省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ＞を「実施している」割合は“東葛飾地域”（41.7%）が4割を超え他の地域に比べ最も高い。＜レジ袋をもらわない＞において「実施している」は“葛南地域”（31.7%）と“東葛飾地域”（31.0%）が3割を超え他の地域に比べ高い。＜車の急発進・急加速はしない＞において「実施している」は“長生地域”（63.9%）が6割台半ばと他の地域に比べ高い。＜できるだけ公共交通機関を利用する＞において「実施している」は“葛南地域”（48.4%）が約5割と他の地域に比べ高い。＜環境家計簿等をつける＞においてはすべての地域で「実施していない」割合が最も高い。（図表23-2）

【性・年代別】

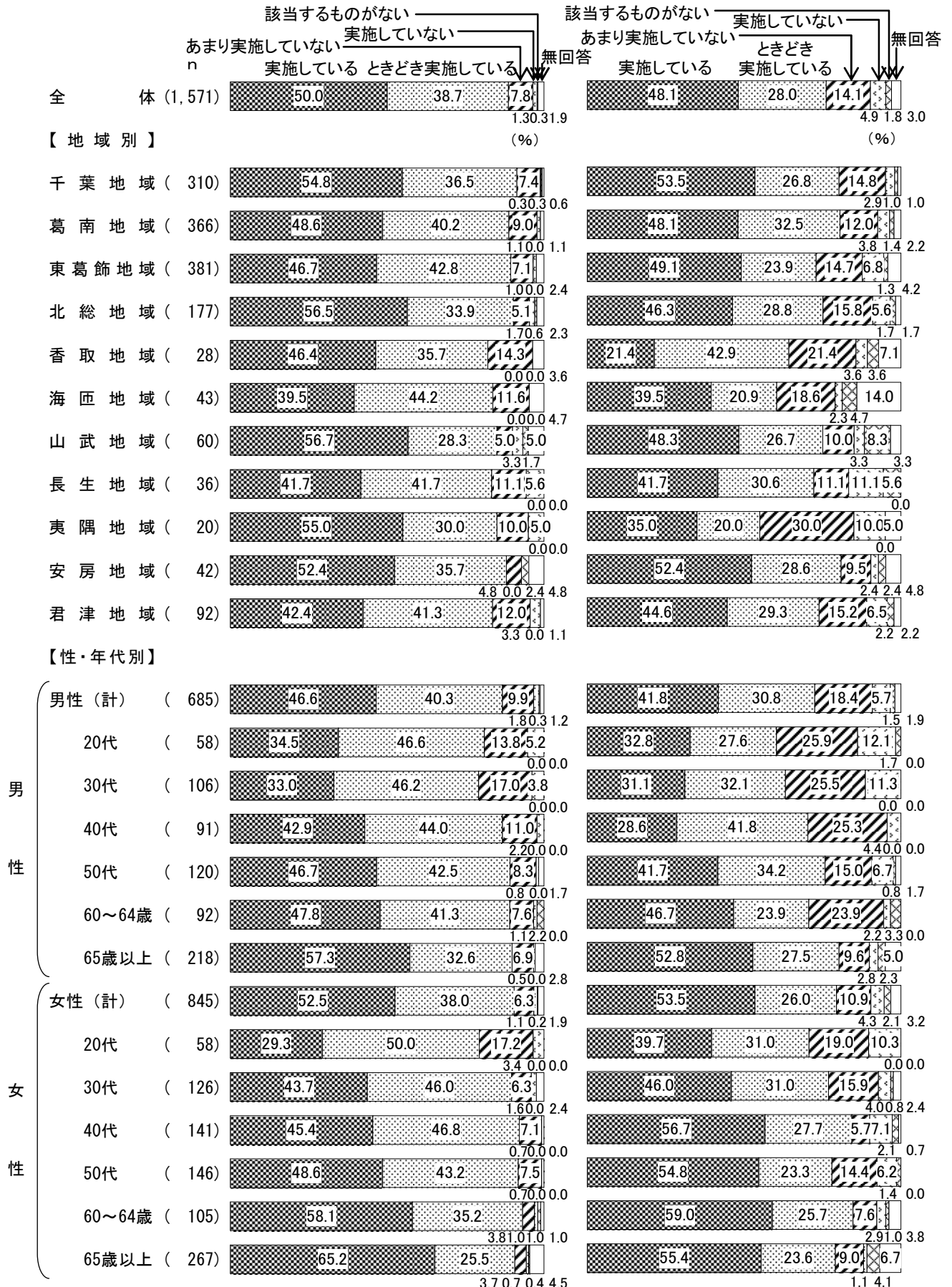
性・年代別にみると、＜節電に努めている＞において、「実施している」は女性65歳以上（65.2%）が6割台半ばで最も高い。＜冷暖房の設定温度を控えめにする（冷房28℃・暖房20℃を目安など）＞においては、女性60～64歳（59.0%）が約6割となっている。＜省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ＞を「実施している」割合は、女性60～64歳（50.5%）で5割となっている。＜レジ袋をもらわない＞において「実施している」は女性60～64歳（42.9%）が4割を超え他の年代に比べて高い。＜車の急発進・急加速はしない＞を「実施している」割合は男性60～64歳（67.4%）で約7割となっている。＜できるだけ公共交通機関を利用する＞において「実施している」は女性60～64歳（43.8%）が4割台半ばと高い。＜環境家計簿等をつける＞においては男女ともすべての年代で「実施していない」割合が最も高い。（図表23-2）

<図表 23-2> 環境保全のために日常生活で行っていること／地域別、性・年代別

(ア) 節電に努めている

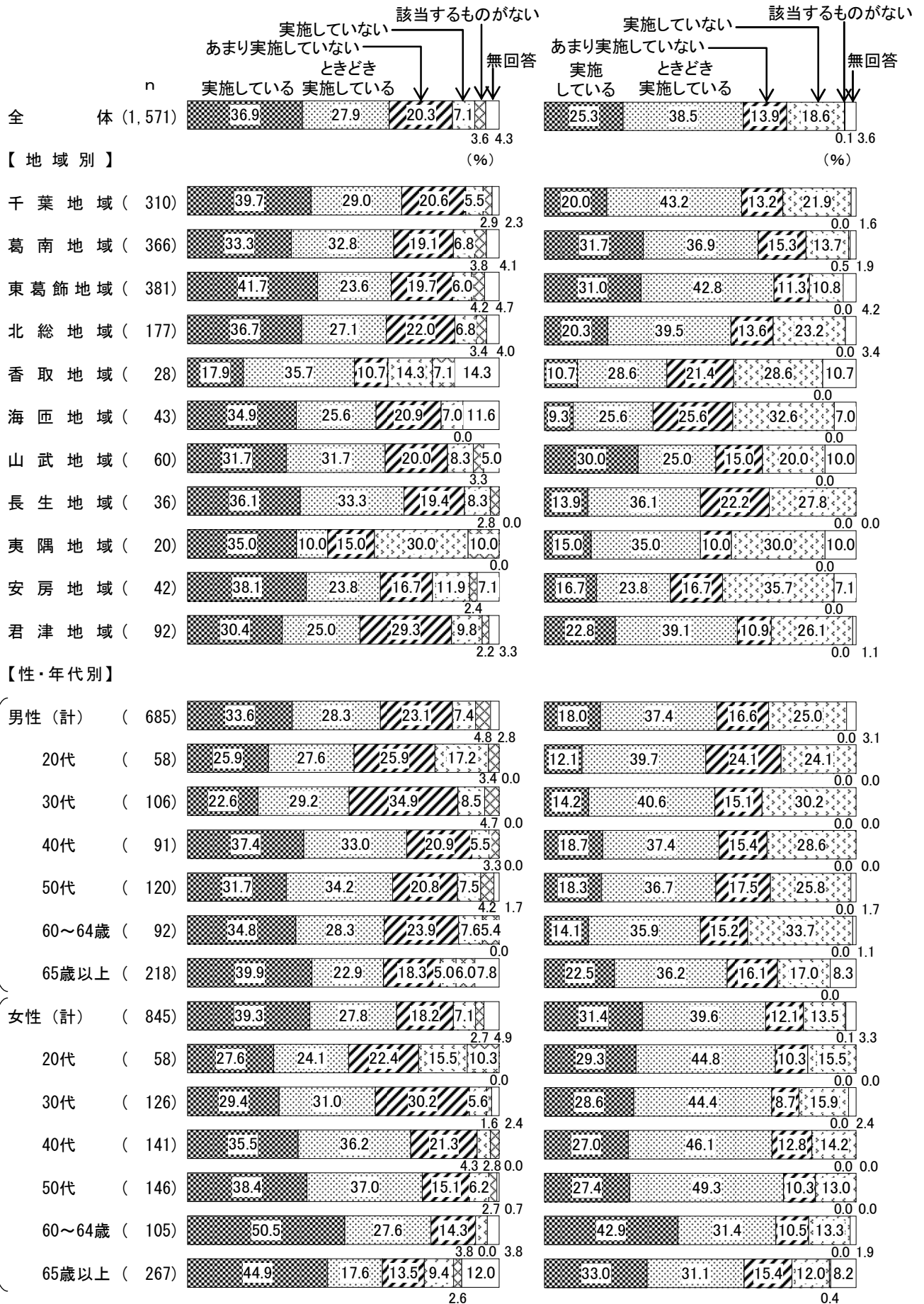
(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする

(冷房28℃・暖房20℃を目安など)



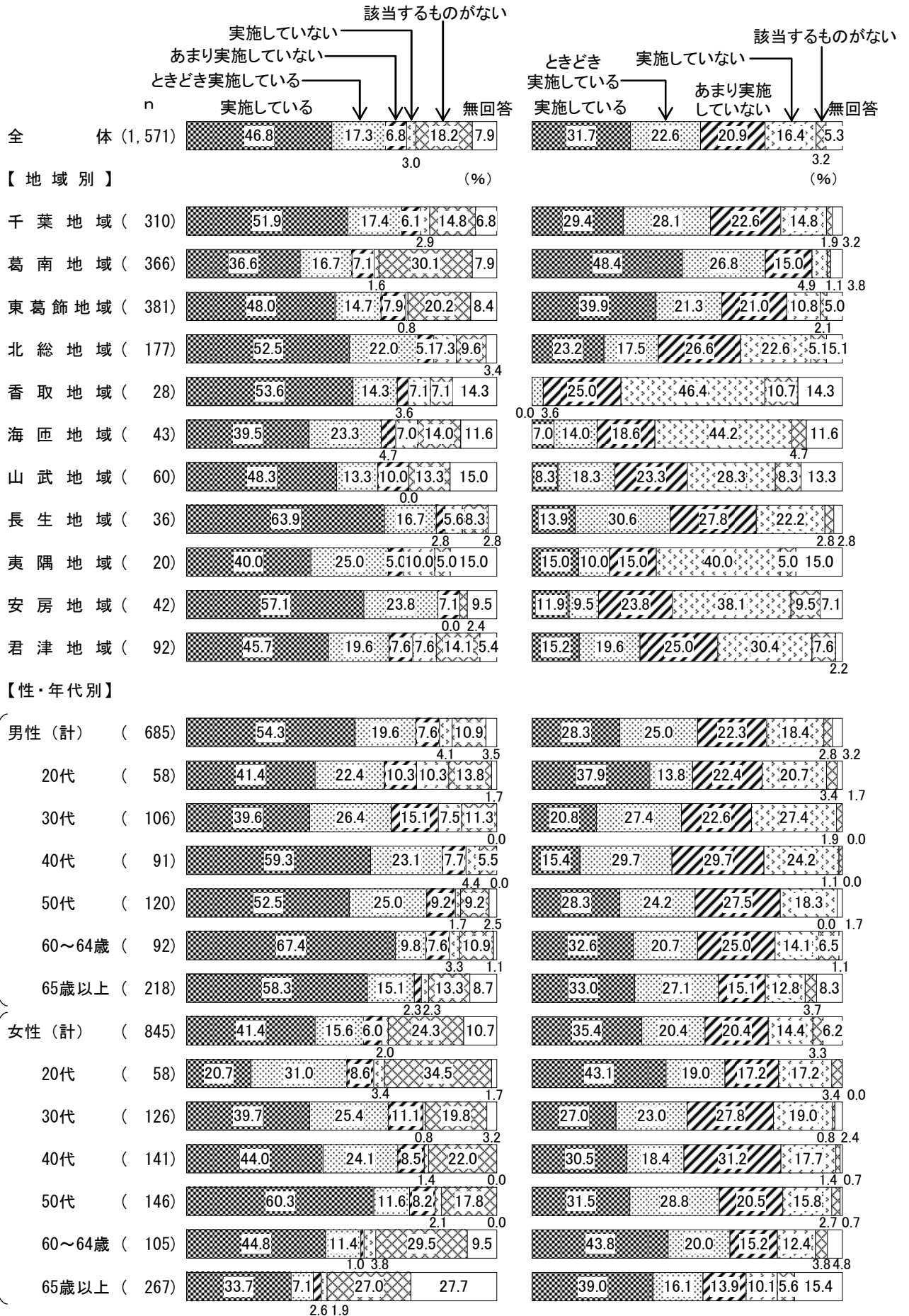
(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ

(エ) レジ袋をもらわない

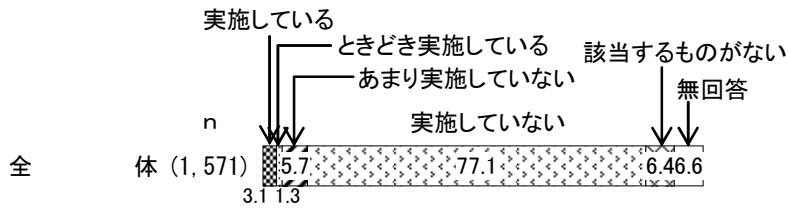


(オ) 車の急発進・急加速はしない

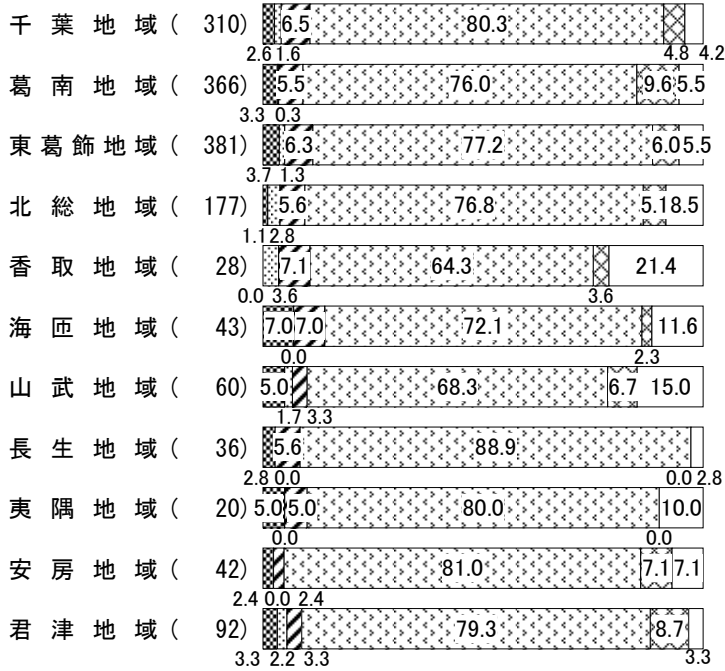
(カ) できるだけ公共交通機関を利用する



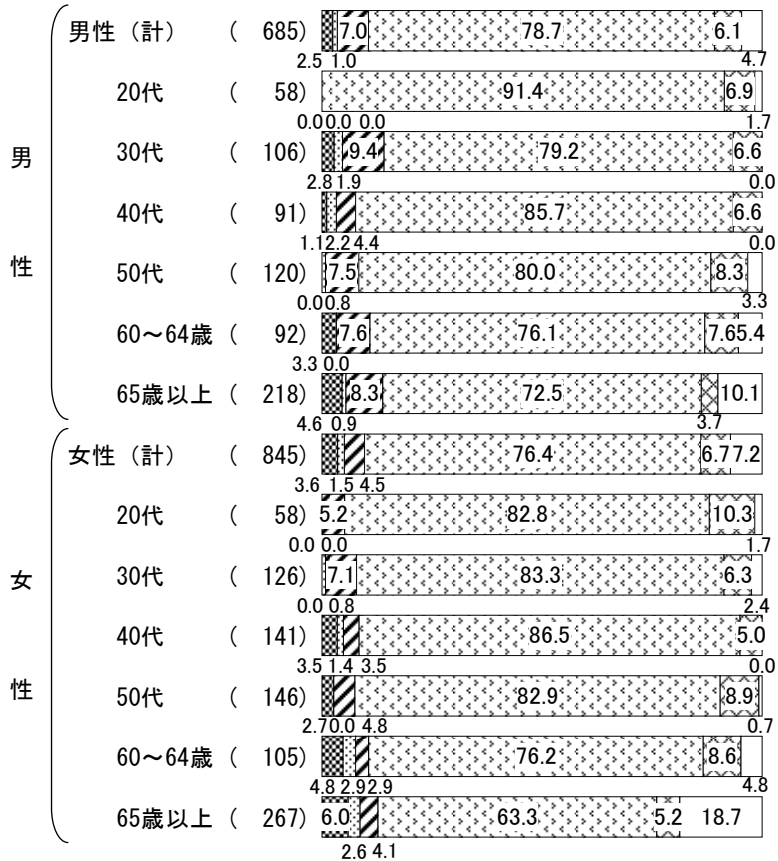
(キ) 環境家計簿等をつける



【地域別】 (%)



【性・年代別】

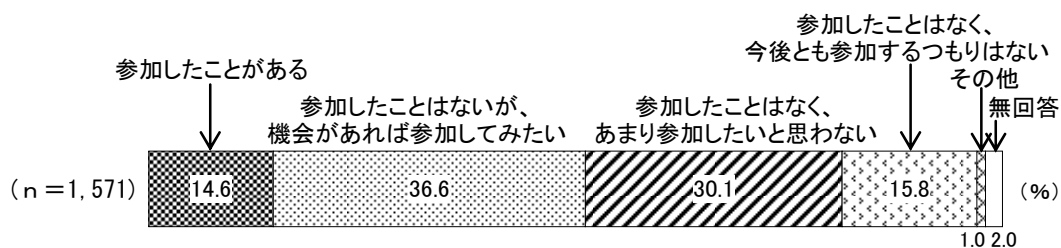


(2) 環境保全に関する講演・セミナー・ボランティア活動などへの参加状況

◇「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」が3割台半ば

問24 あなたは、これまでに環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動などに参加したことがありますか。(○は1つ)

＜図表 24-1＞環境保全に関する講演・セミナー・ボランティア活動などへの参加状況



環境保全に関する講演・セミナー・ボランティア活動などへの参加状況を聞いたところ、「参加したことがある」(14.6%)が1割台半ば、「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」(36.6%)が3割台半ばとなっている。一方、「参加したことはないが、あまり参加したいと思わない」(30.1%)が3割、「参加したことはないが、今後とも参加するつもりはない」(15.8%)が1割台半ばとなっている。(図表 24-1)

【地域別】

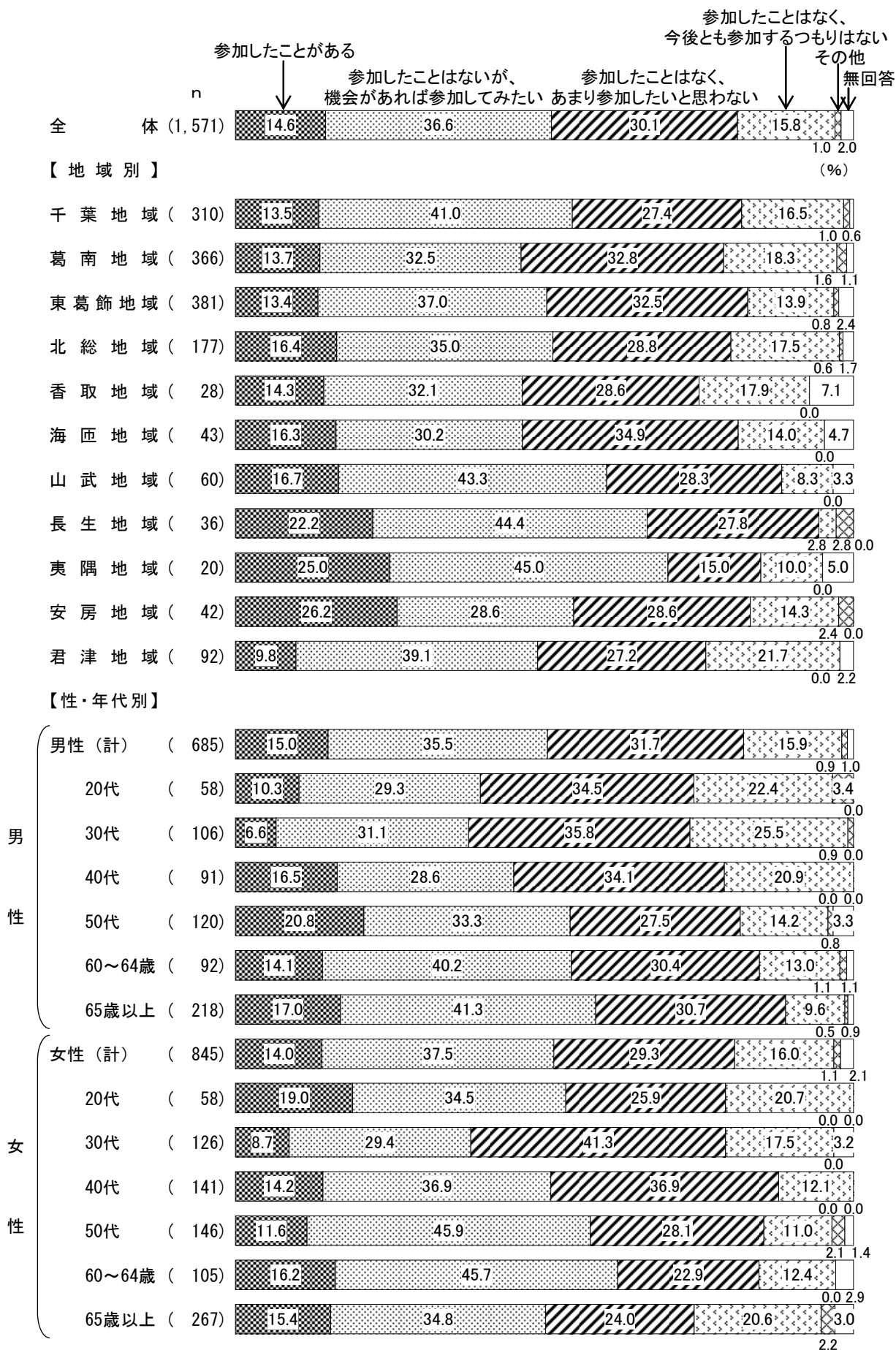
地域別にみると、「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」は“千葉地域”(41.0%)、“山武地域”(43.3%)、“長生地域”(44.4%)、“夷隅地域”(45.0%)で4割を超えている。

(図表 24-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「参加したことがある」は男性50代(20.8%)が2割で他の年代に比べて高くなっている。「参加したことはないが、機会があれば参加してみたい」は女性50代(45.9%)と60~64歳(45.7%)が4割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表24-2)

<図表 24-2> 環境保全に関する講演・セミナー・ボランティア活動などへの参加状況／地域別、性・年代別



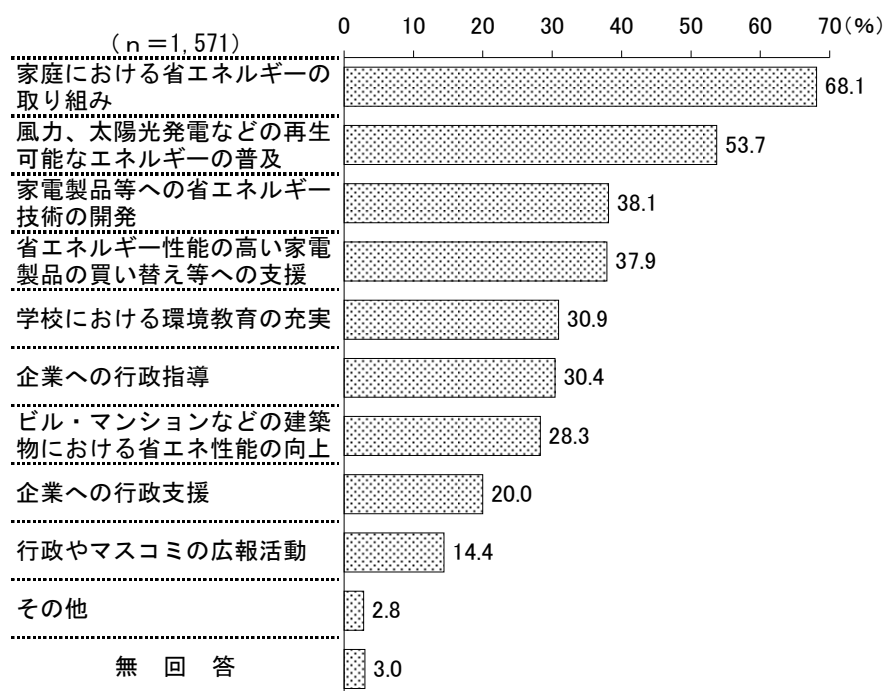
(3) 地球温暖化防止のために重要だと思うこと

◇「家庭における省エネルギーの取り組み」が約7割

問25 あなたは、地球温暖化の防止のために、どのようなことが重要だと思いますか。

(○はいくつでも)

<図表 25-1> 地球温暖化防止のために重要だと思うこと



地球温暖化防止のために重要だと思うことを聞いたところ、「家庭における省エネルギーの取り組み」(68.1%)が約7割となっており、以下、「風力、太陽光発電などの再生可能なエネルギーの普及」(53.7%)、「家電製品等への省エネルギー技術の開発」(38.1%)などが続く。(図表 25-1)

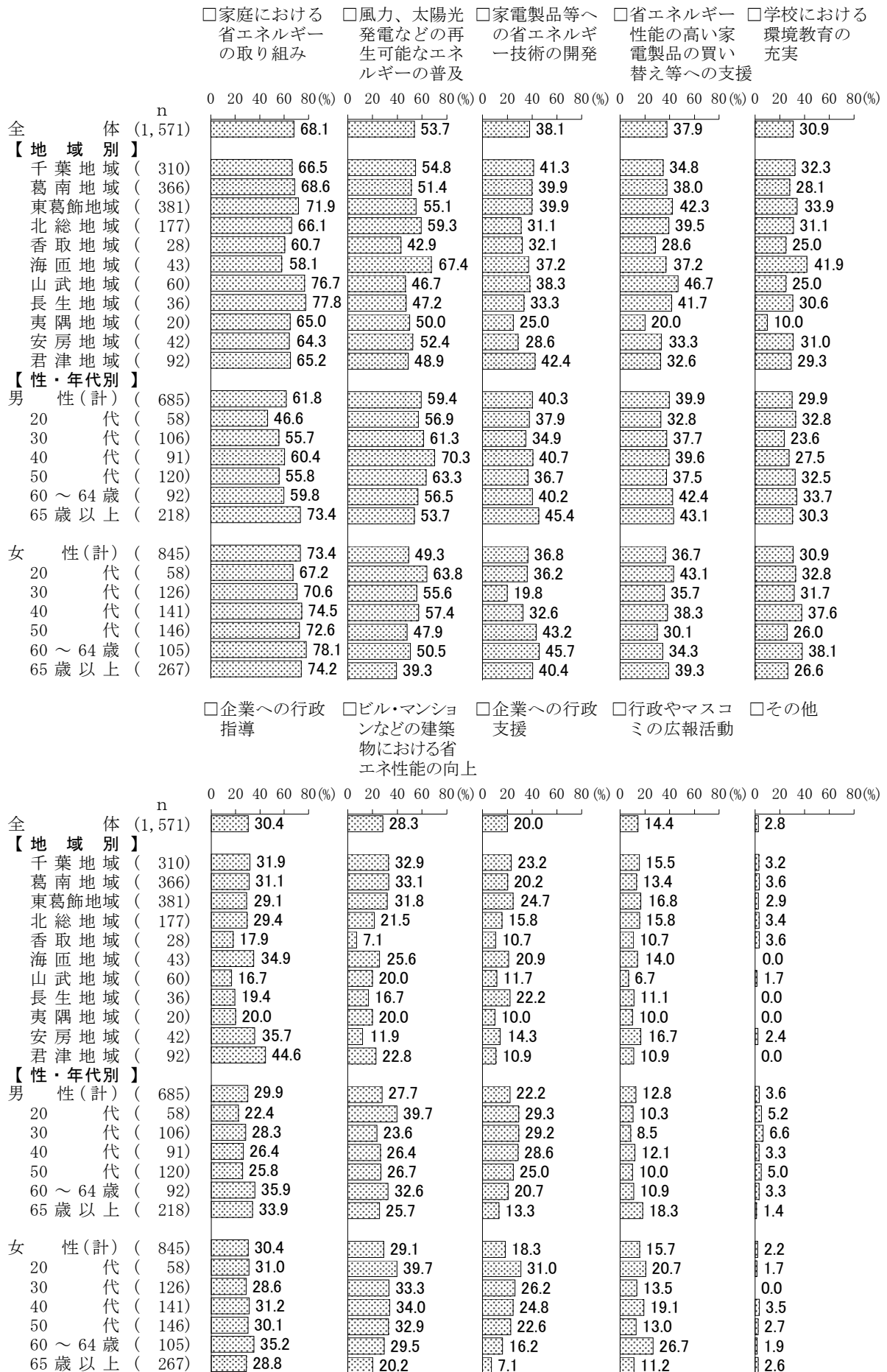
【地域別】

地域別にみると、「家庭における省エネルギーの取り組み」は“海匠地域”(58.1%)を除くすべての地域で6割以上となっており、“長生地域”(77.8%)で約8割となっている。「風力、太陽光発電などの再生可能なエネルギーの普及」は“海匠地域”(67.4%)が約7割で他の地域に比べて高くなっている。(図表 25-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「家庭における省エネルギーの取り組み」はすべての年代で男性より女性の割合が高く、女性60～64歳(78.1%)で約8割となっている。(図表25-2)

<図表 25-2>地球温暖化防止のために重要だと思うこと／地域別、性・年代別



このほかに、「環境保全に関する取り組みについて」やここまでの質問（問23～問25）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、85人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■ 「環境保全に関する取り組み」の自由回答(抜粋)

- 目に見える結果は今すぐではなく何年かの時間がたってから、環境教育が大事だと思います。
(女性・50代・東葛飾地域)
- ふだんの生活で、どのような事が環境保全につながるのかもっと具体的に教えてほしい。(分かれば実行したい。)(男性・30代・葛南地域)
- 例えば節電することによって、それがどれだけ環境保全に役立っているか等がよく分かりません。少し節電したからといって、本当に地球温暖化等、大きな規模で防止できるのか、疑問に思うところがあります。情報が欲しいです。分かればもっと取り組めると思います。
(女性・30代・東葛飾地域)
- 環境保全に対する企業の責任・自覚を強めるよう、国や県などがより積極的に指導を行う。一定規模以上の企業に環境保全の費用負担を求める(環境税など)。
(男性・60～64歳・東葛飾地域)
- 代替エネルギーの開発を進めること。これだけ家電製品が増えた今、使用するなという方が無理なので炭酸ガスを使用する技術を開発し、温暖化の防止をするなど。(女性・60～64歳・北総地域)
- 現在地に居住してから30年、余りに緑地が減り驚いています。私有地の利用方法などで何か指針(規制など)出せないものでしょうか。(男性・65歳以上・東葛飾地域)
- 企業活動や家庭の消費行動も、環境に配慮すると、どうしてもコスト高になり抑えられて、国際競争に負け、結果として収入の少ない国家、住みづらい国になってしまう。中国をはじめとする新興国に、まず環境対応させるような外交政治力が必要。日本だけやっても意味が少ない。正直者(国)が損するようになってしまう。(男性・40代・東葛飾地域)
- エコポイント等のエコだけでなく実利も得ることのできるインセンティブ施策の実施。
(男性・40代・葛南地域)
- エコに対する意識は高まっているが、実際の取り組みとしては、あまり変化が感じられない。大きなウエイトを占める企業には特に力を入れ、積極的な行政支援を期待している。
(女性・20代・長生地域)
- 省エネに取り組むことに、1人1人が意識し、実行してゆくことが、まず大切だと思う。けれど、それ以前に24時間営業や自動販売機など、不必要なエネルギーを減らすことから取り組むべきだと思う。本当に必要なものなのか、そこから考えていくべきではないでしょうか。
(女性・20代・葛南地域)